

# 企業の気候変動に対する取組み

2019年2月19日

積水化学工業株式会社 経営戦略部 環境経営グループ



# 気候変動対策を企業で推進するためには

# **SEKISUI**

# 推進派の意見

環境・社会課題を 解決するのは企業の使命

社会要請、ESG評価の 求めには応じるべき 長期課題の解決を 早期に行えばリスクを 機会に転換できる

共通認識:気候変動は企業リスクの中の1つ

他のリスクと比較した場合の 重みづけの根拠が不足 不確かなものに どのレベルまで取り組むか 投資するかの線引きが困難

慎重派の意見

長期課題解決の前に短中期課題の解決が優先

気候変動対策は企業リスクの中で優先的に取り組む 事項だと共通認識を変える必要がある



# 気候変動対策を企業で推進するためには

# 認識を変えるには、何が必要か?

他のリスクと比較した場合の 重みづけの根拠が不足



- ・業界連携
  - ・有識者見解 ・リスク分析

### 現状の認識

プラットフォームなど 公開情報整備が進んでいる

長期課題解決の前に 短中期課題の解決が優先

不確かなものに どのレベルまで取り組むか 投資するかの線引きが困難



事例集の整備が進んでいる

・義務法制化 ステークホルダーとの対話 ・助成

・複数課題解決施策の提案

トリガー

様々な後押しが必要。TCFDもその一つ。



# 気候変動リスクを最小限にする取組例1

SEKISUI

・自然災害リスク

取組事業所の防災対策の強化、生産拠点の分散

⇔ 問題:対策コスト増

・原材料調達リスク 取組 原料サプライチェーンのリスク見直し

⇔ 問題:コストメリット減少

取組 代替資源・材料の検討、開発

⇔ 問題:開発工数の増加

規制・法的責任リスク取組 長期目線での対策実施

⇔ 問題:現状利益には反映されず

取組 規制情報の早期把握と対応

⇔ 問題:対策コスト増

問題のデメリットを上回る認識、判断材料があると 取組へとつながる



### 気候変動リスクを最小限にする取組例 2

# SEKISUI

#### 代替資源・材料の検討、開発 取組

問題:開発工数の増加

#### リスク

- ・資源のエリア偏在と エリア毎に多発する 災害による供給不足
- ・脱炭素社会への転換
- ・化石資源代替

### 取組

エリアに依存しない原材料の調達策の一つ。 可燃ごみから、微生物を触媒に 原材料(エタノール)を製造する新規技術の 確立。

#### 後押し

- ・新しい事業の確立につながる
- ・サーキュラーエコノミーの実現

# リスクをチャンスとする 取り組み



実証プラント



# 気候変動リスクを最小限にする取組例 2

# SEKISUI

#### 規制情報の早期把握と的確な対応 取組

問題:対策コスト増

### リスク

- ・干害、洪水被害の多発に よる原材料サプライヤー の操業停止
- ・干害、洪水被害の多発に よるユーザーとなる エリア顧客の喪失

#### 取組

- ・災害の影響を受ける地域において 基準づくりから現地政府と連携し 災害耐性強化を支援
- 既存事業の市場を拡大

#### 後押し

・自社だけでなく、地域、他社 のリスクを

# 複数課題を解決



樹脂管、継手

水インフラ関連製品



# ・気候変動のリスクをチャンスに変える取組を推進

- ・全テーマを環境・エネルギーに据えた R&Dセンターでの技術開発と事業化を推進
- ・既存事業の市場拡大とシフト
- ・TCFDに取り組むことで考え方が強化
- ・気候変動だけでない複数課題解決になる取組を検討
  - ・SDGsに貢献する姿勢、考え方で発想転換

SHIFT 2019 -Fusion- SEKISUI CHEMICAL GROUP 6